取扱説明書

吉田式マークダウンビューア

初版　　2025年08月03日
10版　　2026年08月02日

■このソフトウェアについて

本ソフトウェアは、Markdown形式のテキストを手軽に編集・確認できるWindows向けビューアです。
リアルタイムプレビュー機能により、Markdownで記述した内容を即座にHTMLとして表示できるため、
ドキュメント作成や技術資料の確認作業を効率化します。

■イメージ

■第三者製ソフトウェアについて

本ソフトウェアが使用している第三者製ソフトウェアおよび
各ライセンスについては、同梱の Licenses¥ThirdPartyNotices.txt を
ご参照ください。

■動作環境

OS
Windows11

ハードウェア要件
Windows11以降が動作する環境

その他
・.NET 10版
.NET Desktop Runtime 10が必要です。通常はこちらを推奨します。

・.NET 8版
.NET Desktop Runtime 10をインストールできない環境向けです。
.NET Desktop Runtime 8が必要です。

~~・インターネットに接続できる環境でご使用ください。~~
→ バージョン1.2より、オフライン環境でもご使用いただけるようになりました。
※初回起動時は、CSSやJavaScriptなどのWeb表示用リソースを準備するため、
起動に時間がかかる場合があります。

■インストール＆起動方法

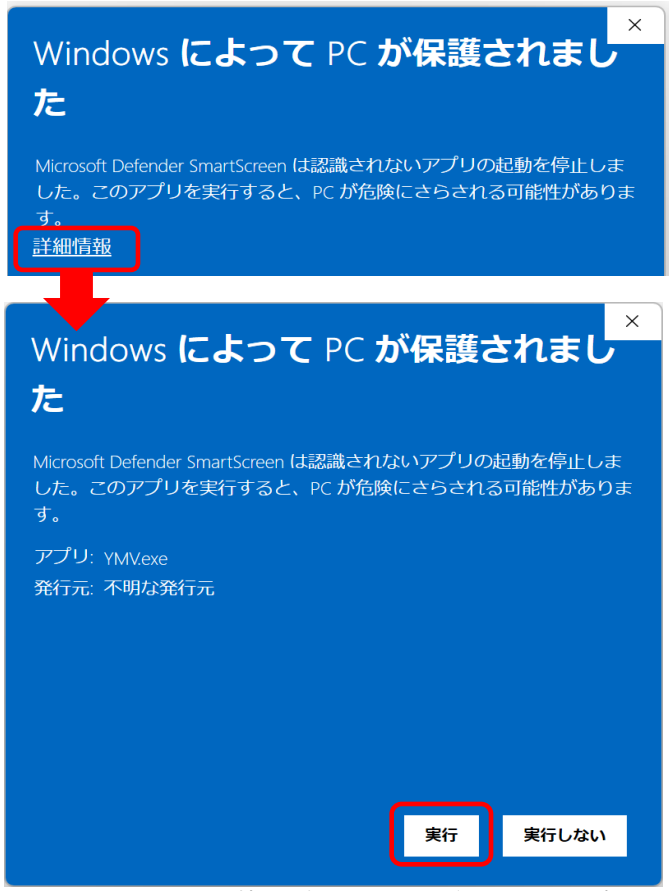
インストール
ダウンロードしたZIPファイル（YMV_xxxxxxxx.zip）を任意のフォルダに展開してください。
※ZIPファイルのままでは起動できません。必ず展開してからご使用ください。

起動
上記インストールで展開したフォルダより「YMV.exe」を実行してください。

アンインストール
上記インストールで展開したフォルダやファイルを削除してください。
アンインストールの必要がない場合、この手順は不要です。
※「YMV.exe」の起動中は削除できないので、終了後に実施してください。

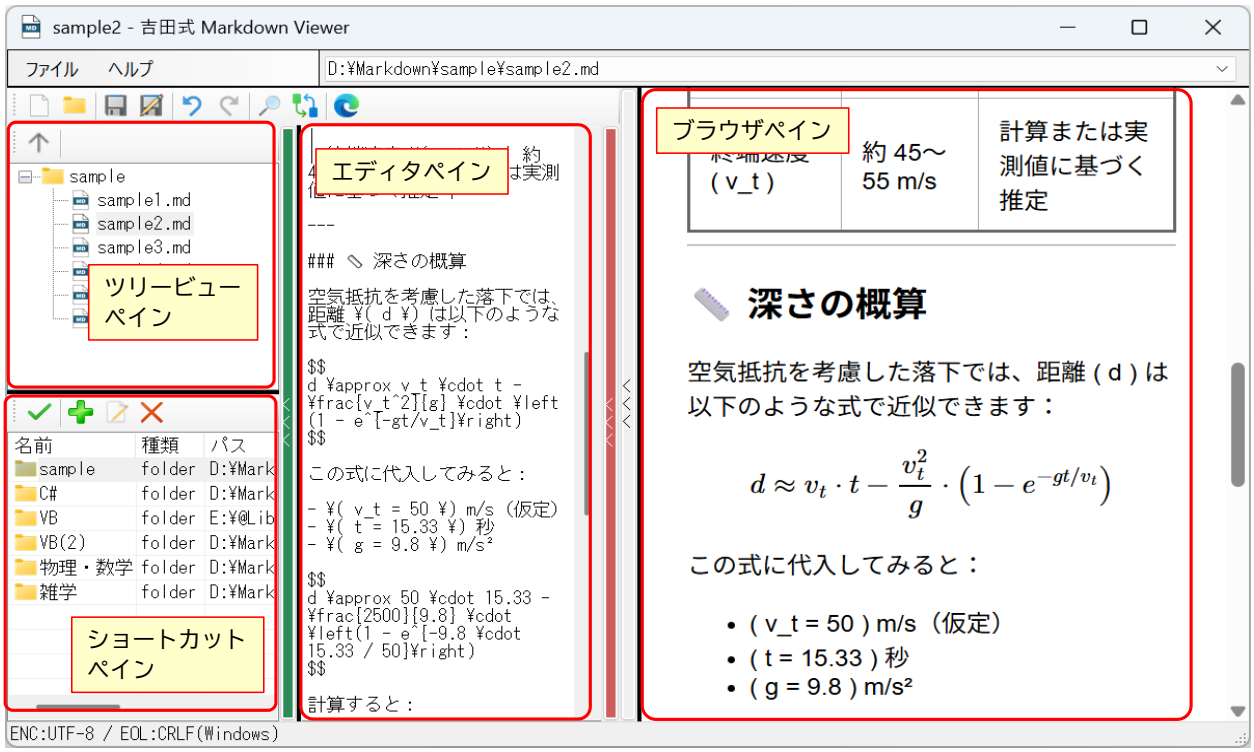
アップデート
ダウンロードしたZIPファイル（YMV_xxxxxxxx.zip）を展開し、
インストールの手順で作成したファイルを上書きしてください。
※本ソフトウェアを起動している場合は、アップデート前に終了してください。

初回起動時（SmartScreen警告について）
初回起動時に「PCが保護されました」という警告が表示される場合があります。
その場合は、[詳細情報]→[実行]の手順で起動を行ってください。
※この警告は、Microsoftによるコード署名が未登録のアプリに対して表示される仕組みです。
当アプリは開発元により安全性を確認済みであり、ウイルスや不正な動作は含まれていません。
安心してご利用ください。



※画面はWindows 11環境での例です。OSのバージョンや設定により表示が異なる場合があります。

■画面構成



ツリービュー

現在開いているファイルをルートフォルダとして、フォルダやファイルをツリービュー構造で表示します。
ファイルを選択すると、その内容をエディタとブラウザにロードします。
※ツリービュー内のフォルダやファイルをドラッグ＆ドロップで移動するといった機能は
　現状、実装していません。

エディタ

Markdown形式のテキストを入力・編集するための領域です。直感的な操作で、スムーズに記述できます。

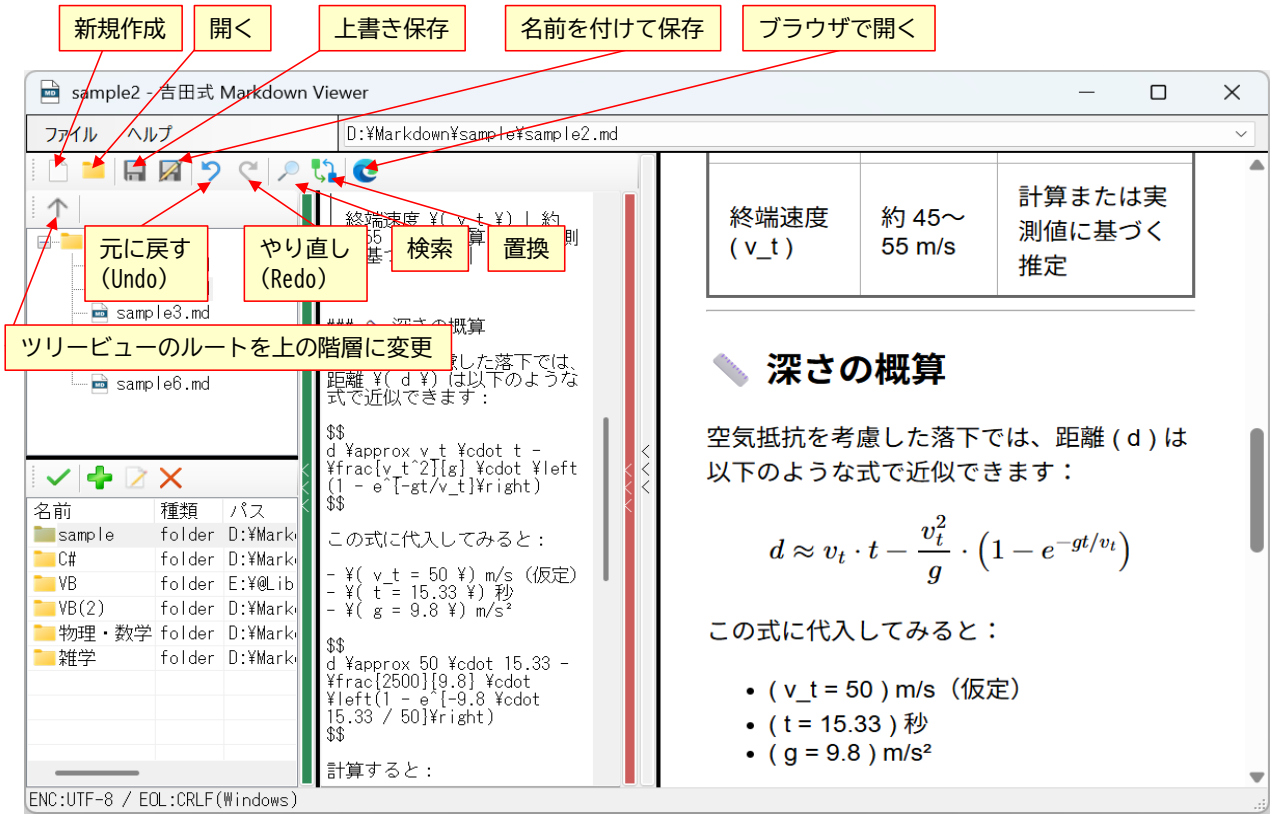
ブラウザ

エディタに記述したMarkdownをリアルタイムでHTMLに変換し、ブラウザに表示します。

ショートカット

MDファイルやMDファイルを格納したフォルダへのショートカットを任意の名前で登録できます。
※既に登録されているものと重複する名前の登録はできません。

■基本操作（１）：画面構成と基本操作



■ツリービューペイン

上の階層へ移動
　ツリービューペインのルートフォルダを1つ上の階層に変更します。

開く
　MDファイルを選択するためのファイルダイアログを表示します。

■エディタペイン

新規作成

　現在開いているMDファイルを閉じ、エディタとブラウザの内容をクリアします。

開く
　MDファイルを選択するためのファイルダイアログを表示します。

上書き保存
　エディタの内容を保存します。
　・MDファイルを開いている場合は、現在のファイルに上書き保存します。
　・ファイルを開いていない場合は、「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。

名前を付けて保存
　新しいMDファイルとして保存するためのダイアログを表示します。

ブラウザで開く
　ブラウザに表示されているHTMLを、OSの既定ブラウザで開きます。

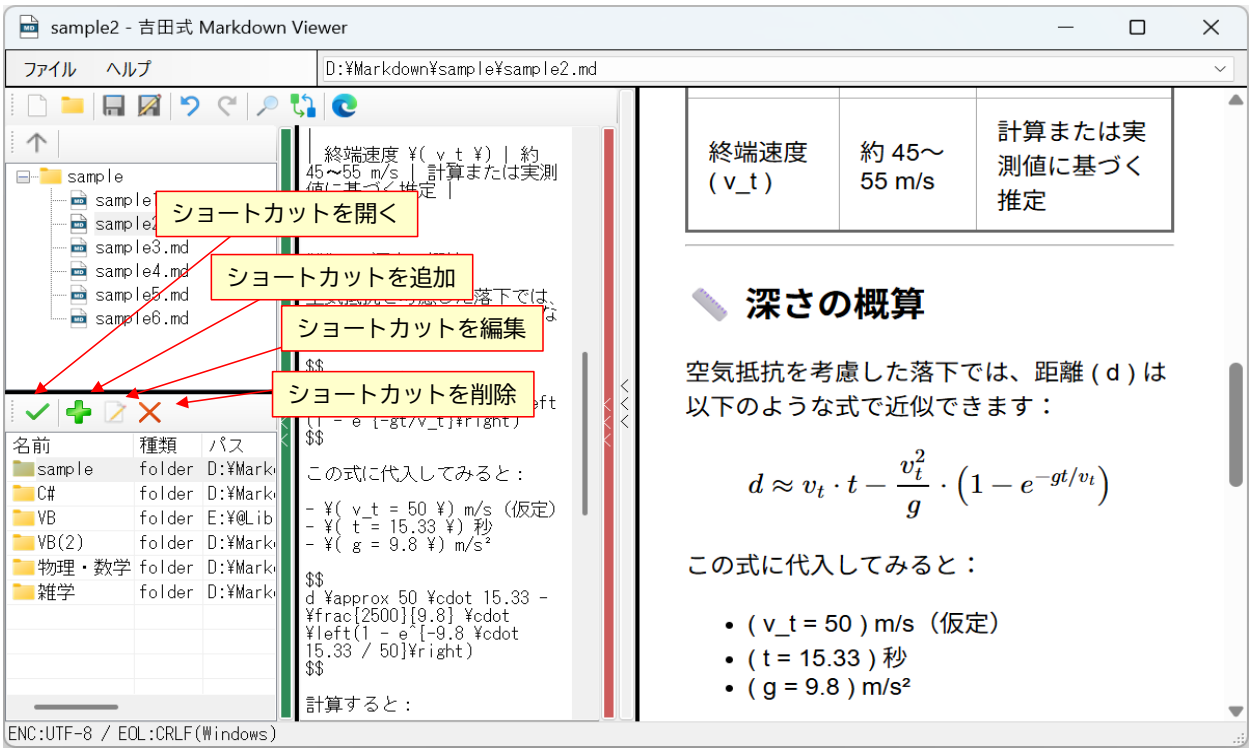
元に戻す（Undo）
　編集した内容を元に戻します。

やり直し（Redo）
　元に戻す前の状態に戻します。

検索
　検索画面を開きます。検索画面の説明は後述します。

置換
　置換画面を開きます。置換画面の説明は後述します。

■基本操作（2）：ショートカットツールバーの機能



■ショートカットペイン

<ショートカットとは>

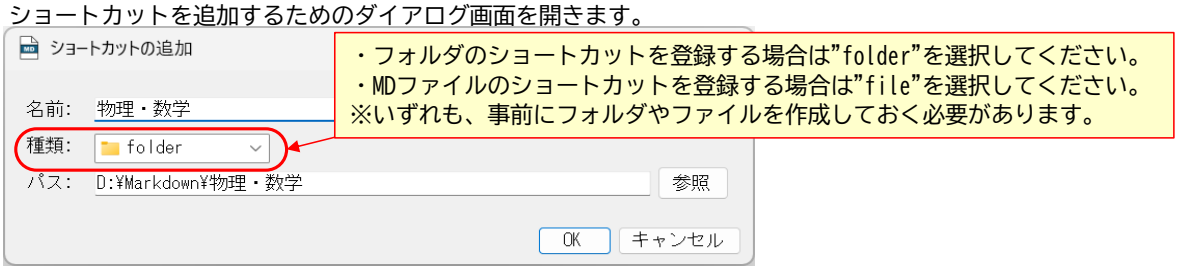
当アプリにおけるショートカットとは、ブラウザにおけるお気に入り（ブックマーク）に相当する機能です。
よく使うフォルダや Markdown (MD) ファイルをショートカットとして登録しておくことで、
目的の場所へ素早くアクセスできるようになります。
これにより、作業効率が向上し、煩雑なフォルダ移動やファイル検索の手間を省くことができます。

ショートカットを開く

選択中のショートカットを開きます。
対象の種類が"folder"の場合、ツリービューへ展開します。
対象の種類が"file"の場合、選択中のファイルを読み込み、エディタ及びブラウザへ展開します。

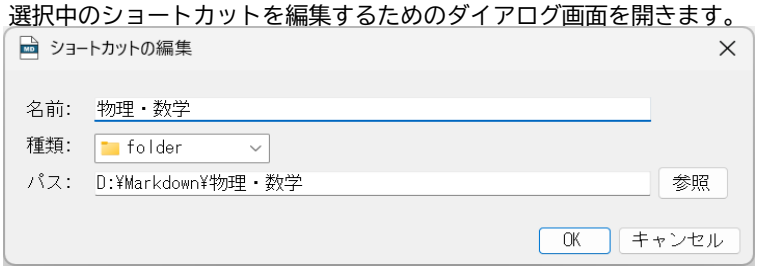
ショートカットを追加

ショートカットを追加するためのダイアログ画面を開きます。



ショートカットを編集

選択中のショートカットを編集するためのダイアログ画面を開きます。



ショートカットを削除

選択中のショートカットを削除します。

■基本操作（３）：検索

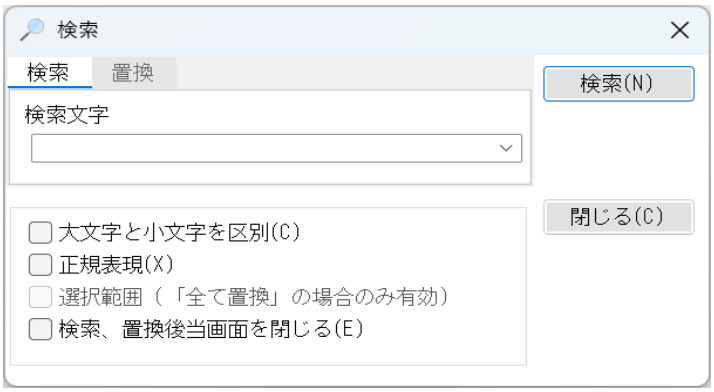
■検索置換画面の開き方

開き方1
　エディタペインでCtrl + Fキーを押下

開き方2
　エディタペインのツールバーより、検索ボタンを押下

開き方3
　アプリ起動後に一度も検索を行っていない場合は、エディタペインでF3キーを押下
　※アプリ起動後に検索を行っている場合は、検索画面を開かず、前回の検索文字で検索を行います。

■検索画面



使い方

1. 検索文字列に検索対象の文字を入力

2. 検索オプションを指定

大文字と小文字を区別	アルファベットの大文字小文字を区別します。
正規表現	正規表現で検索します。
検索、置換後に当画面を閉じる	検索後に検索画面を閉じます。

3. 検索ボタンを押下

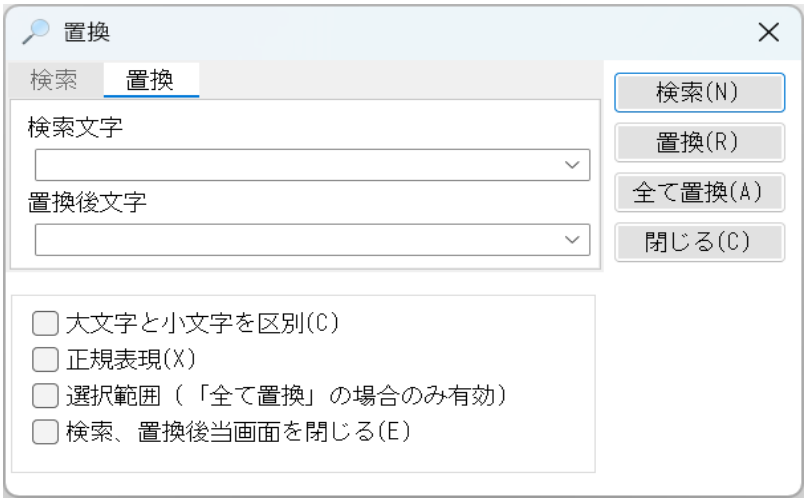
■基本操作（４）：置換

■検索置換画面の開き方

開き方1
　エディタペインでCtrl + Hキーを押下

開き方2
　エディタペインのツールバーより、置換ボタンを押下

■置換画面



使い方

1. 検索文字列に検索対象の文字を入力

2. 置換後文字列に検索対象の文字を入力

3. 置換オプションを指定

大文字と小文字を区別	アルファベットの大文字小文字を区別します。
正規表現	正規表現で検索します。
範囲選択	選択範囲の文字列を置換します。 ※文字列を選択していない場合は、 　エディタ内の文字列全てが対象になります。 ※全て置換ボタンを押下した場合のみ有効です。
検索、置換後に当画面を閉じる	置換後に置換画面を閉じます。

3. 置換ボタンかすべて置換ボタンを押下

置換	エディタのカーソル位置を起点に、順次置換を行います。
全て置換	エディタ内の全ての文字列を対象に検索を行い置換を行います。 置換オプションの選択範囲にチェックがついており、かつ チェックボックスが有効になっている場合は、エディタ内で 選択している範囲の文字列を対象に検索を行い置換を行います。

■基本操作（５）：正規表現について

正規表現について

文字列のパターンを記述するための特殊な記法で、検索や置換、抽出などに利用されます。
例えば「数字だけ」「メールアドレス形式」などを柔軟に判定できます。
詳細な使い方や構文は、インターネット上の解説サイトなどをご参照ください。

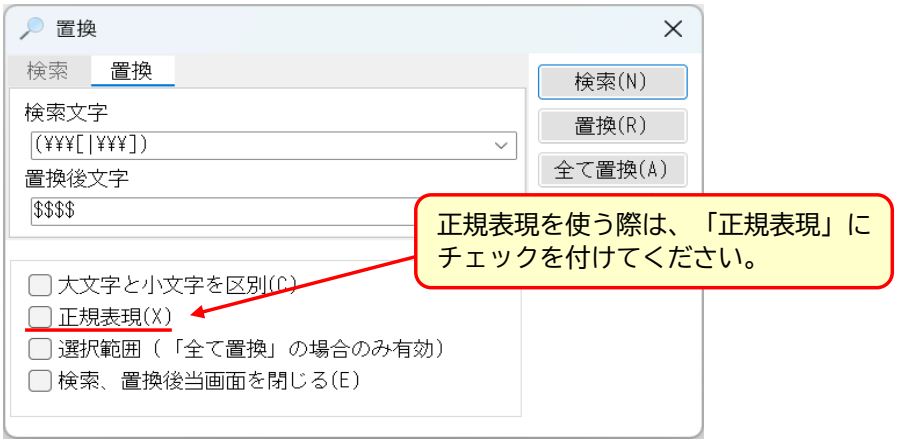
使用例

使用目的	正規表現例	説明
数字のみを抽出	¥d+	1つ以上の数字にマッチします（例：123）
メール形式の判定	¥w+@¥w+¥.¥w+	簡易的なメールアドレス形式にマッチします
郵便番号の抽出	¥d{3}-¥d{4}	「123-4567」のような日本の郵便番号形式

置換における正規表現の使用例

置換処理では、検索文字列だけでなく、置換後の文字列にも正規表現を活用できます。
例えば、検索文字に”(¥¥¥[|¥¥¥])”を指定し、置換後文字に”$$$$”を指定すると
”¥[”や”¥]”を”$$”に読み替えることができます。

Markdown記法では”¥[”や”¥]”で囲んだ文字列を数式として認識する場合もあり、そうした記法を
統一したい場合に”$$”への置換が有効です。
※当ビューアでは”¥[”や”¥]”で囲んだ文字列を数式として認識しません。
※バージョン1.0.5より、ペースト時に”¥[”や”¥]”を自動置換するオプションを設定画面に追加しました。
　詳細は「設定画面」に関する項を参照ください。（このオプションは、初期値がONとなっています）



Markdown

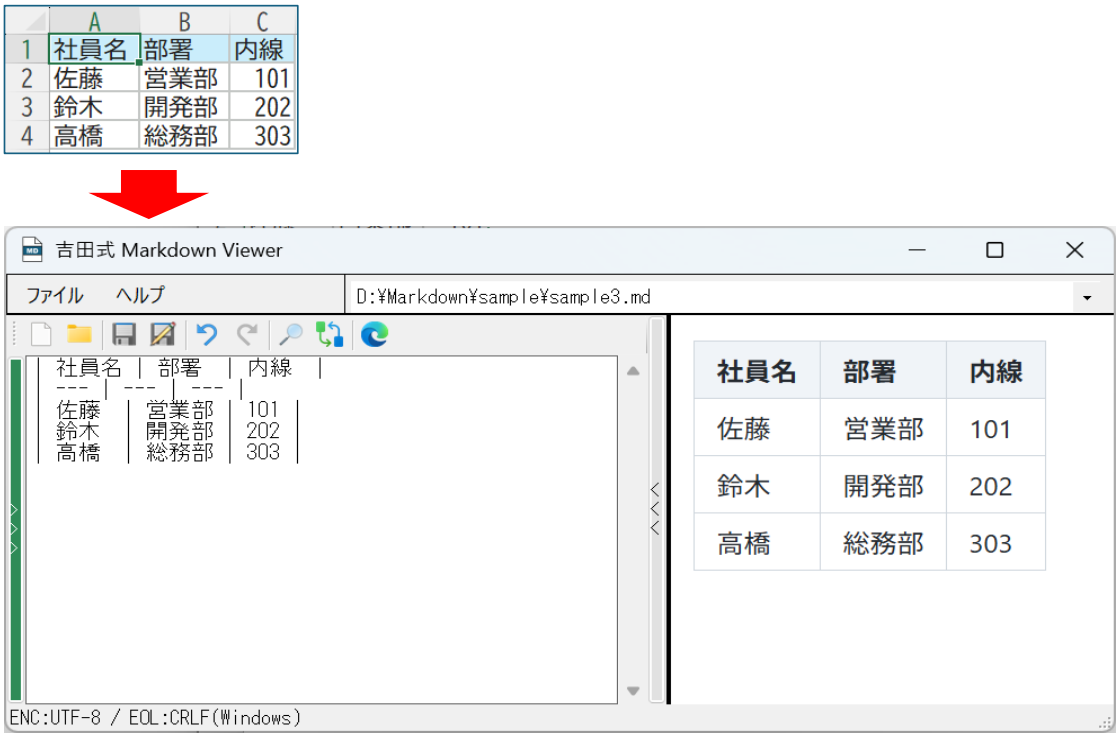
```
$$
d ¥approx 50 ¥cdot 15.33 - ¥frac{2500}{9.8} ¥cdot ¥left(1 - e^{-9.8 ¥cdot 15.33 / 50}¥right)
$$
```

HTML

$$d \approx 50 \cdot 15.33 - \frac{2500}{9.8} \cdot \left(1 - e^{-9.8 \cdot 15.33 / 50}\right)$$

■基本操作（６）：表データの貼り付けについて

Excelからの表データ張り付けは、自動でMarkdown記法に変換します。
※対象が1列の場合など、表データとして識別できない場合は、プレーンテキストと同様に扱う場合があります。

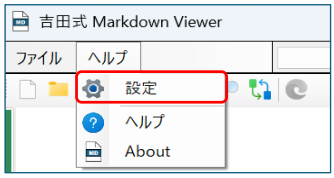


※プレーンテキストとして貼り付けたい場合は、Shiftキーを押しながら貼り付けを行ってください。

■設定画面（1）

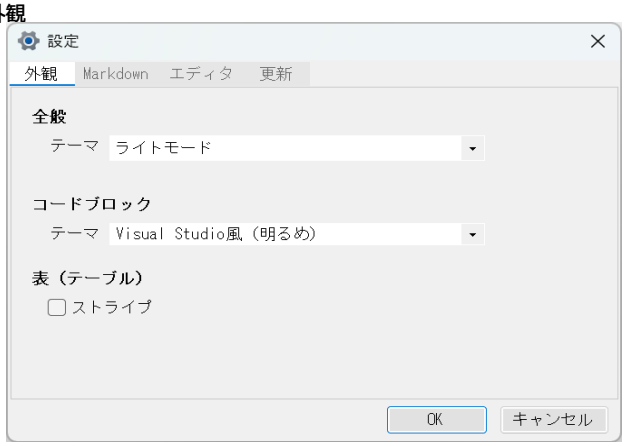
設定画面の開き方

画面上部のメニュからヘルプを展開し、設定を選択してください。



設定画面について

外観



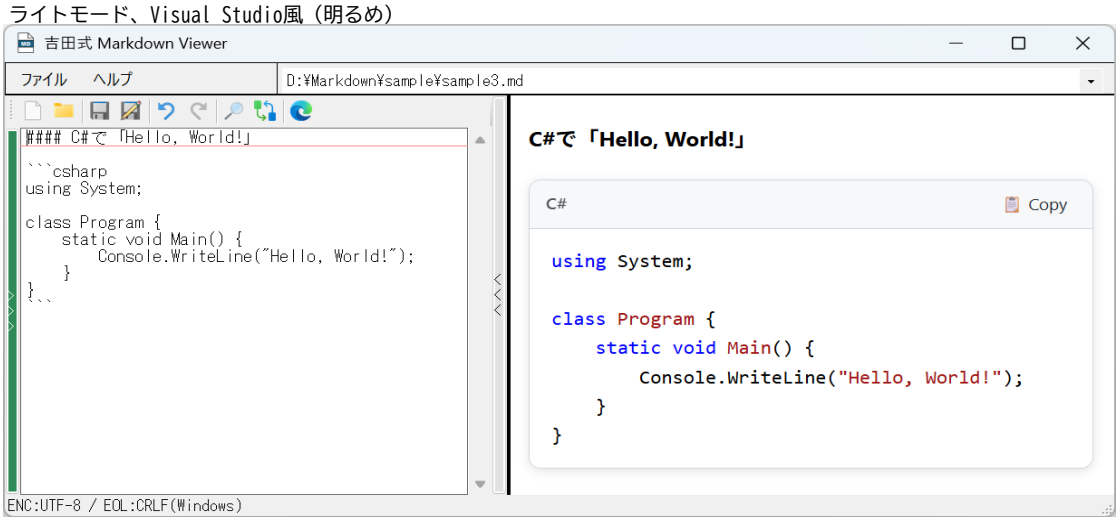
全般

テーマ	アプリの表示モード（テーマ）を選択します。
システム	OS のテーマに合わせて自動切換え
ライト	明るい配色
ダーク	暗い配色

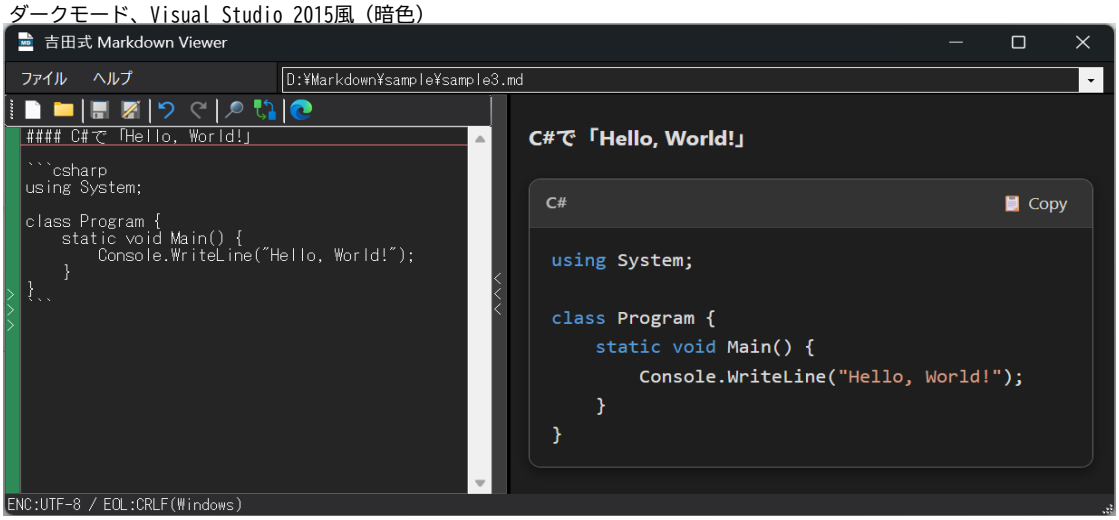
コードブロック

テーマ	コードブロックを表示する際のテーマを指定します。

ライトモード、Visual Studio風（明るめ）

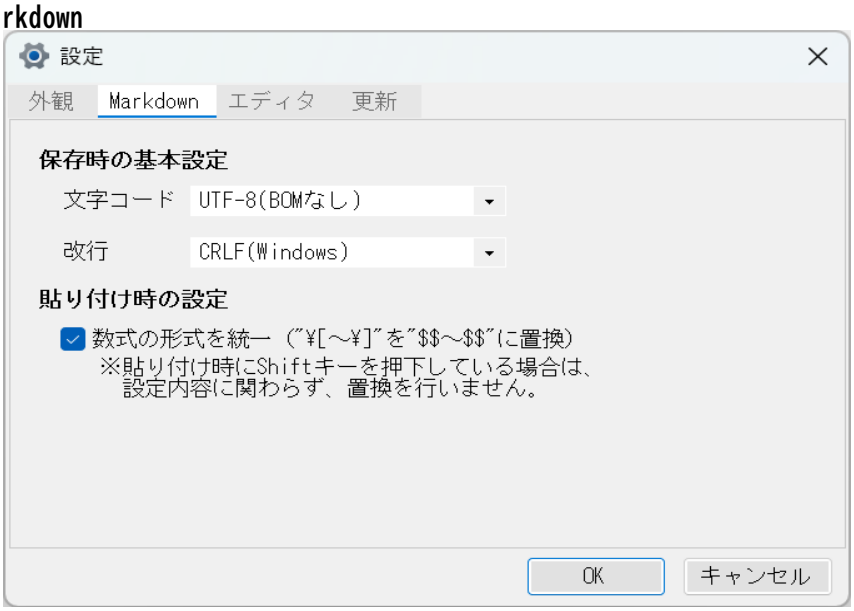


ダークモード、Visual Studio 2015風（暗色）



■設定画面（２）

Markdown



保存時の基本設定

文字コード	保存時に使用する文字コードを指定します。 Markdown ファイルの一般的な標準は UTF-8（BOM なし）であり、 本アプリでも初期値として採用しています。
改行	保存時の改行マークを指定します。 Windows上で扱う限りにおいては初期値のCRLFで問題ありません。

※既存のMarkdownファイルを開いた場合は、既存ファイルの文字コードを優先します。
※MDファイルをSJISで保存した場合、内容に2バイト文字（日本語など）が含まれないと、
読み込み時に UTF-8（BOMなし）として誤判定されることがあります。
そのため、SJISでの保存は非推奨です。近日中にSJIS対応は廃止予定です。

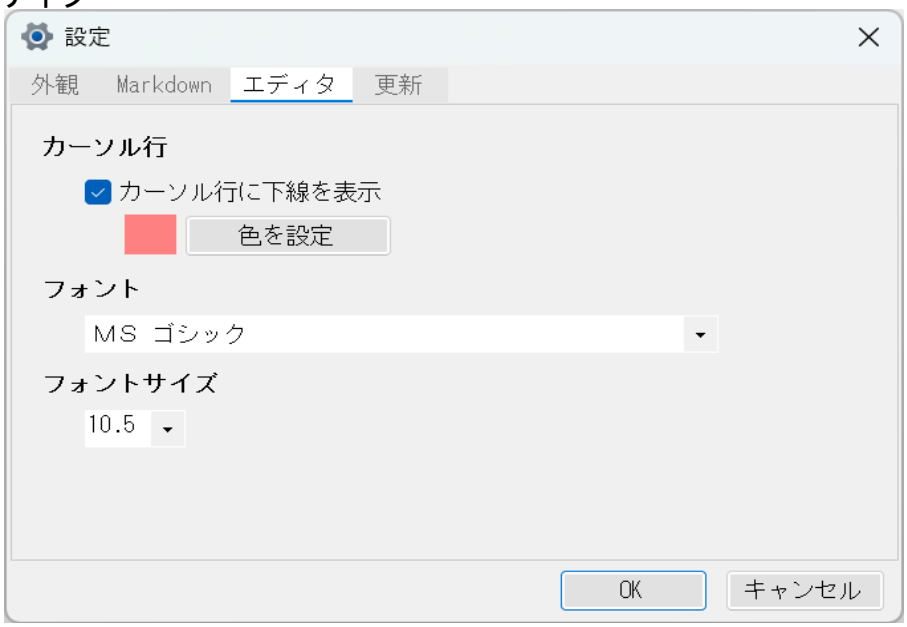
貼り付け時の設定

数式の形式を統一	テキストの貼り付け時に”¥[～¥]”を”$$～$$”に置換（初期値はON）

※貼り付け時にShiftキーを押下している場合は、設定内容に関わらず、置換を行いません。

■設定画面（３）

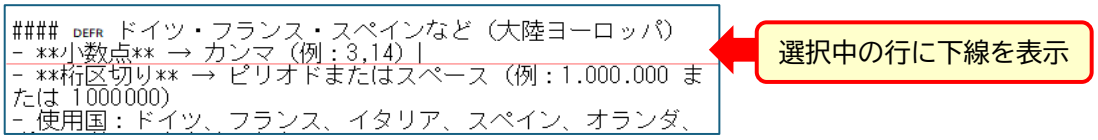
エディタ



カーソル行

カーソル行に下線を表示
　チェックを付けた場合、Editorの選択行に下線を表示します。

色を選択
　下線を表示する場合、下線の色を指定することができます。



フォント

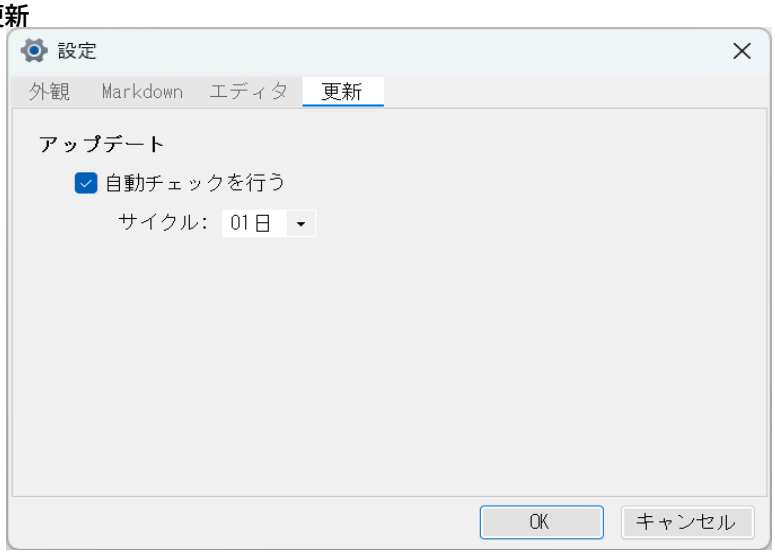
エディタに表示する文字列のフォントを指定できます。
※選択肢には等幅フォントの一覧が表示されます。

フォントサイズ

エディタに表示する文字列のフォントサイズを5～72ポイントの範囲で変更可能です。
※フォントサイズにおける 1 ポイントは、1/72 インチを意味します。

■設定画面（4）

更新



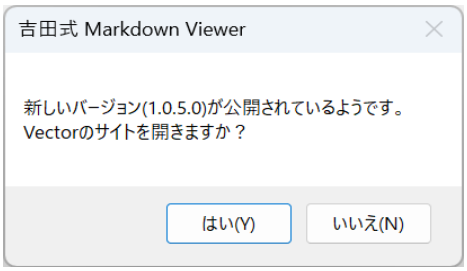
自動チェックを行う

新しいバージョンが公開されているか、自動チェックを行う場合、チェックを付けてください。
※自動チェックでは Vectorのサイトへアクセスし、最新版が公開されているか確認します。
※通知が表示された際は、サイトを開いてダウンロードを行い、ファイルの差し替えを行ってください。
※ネット環境によっては、自動チェックに失敗する場合があります。
その場合、自動チェックは行えないため、この画面よりチェックを外し、自動チェック機能を無効化してください。

サイクル

自動チェックのサイクルを指定します。
1日を選択した場合は、24時間ごとに更新チェックを行います。

新しいバージョンが公開されている場合、下記のようなメッセージが表示されます。
[はい]を選択することで、Vectorの公開サイトに移動します。



■ショートカットキーについて

全般

操作	ショートカットキー
新規作成	Ctrl + N
開く	Ctrl + O
保存	Ctrl + S
印刷	Ctrl + P
名前を付けて保存	Ctrl + Shift + S
終了	Alt + F4

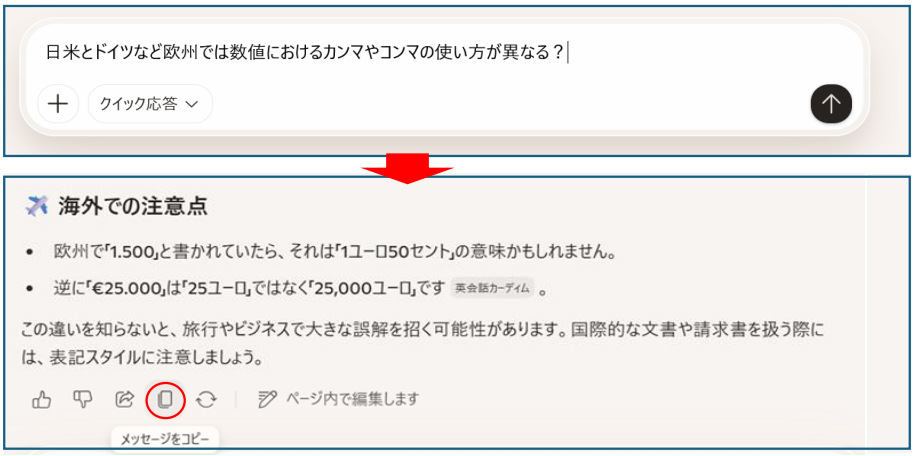
エディタペイン

操作	ショートカットキー	説明
コピー	Ctrl + C	選択されたテキストをクリップボードにコピー
カット	Ctrl + X	選択されたテキストをクリップボードにコピーして削除
ペースト	Ctrl + V	クリップボードの内容を挿入
	Ctrl + Shift + V	プレーンテキストとして貼り付け
元に戻す	Ctrl + Z	最後の操作を取り消す
やり直し	Ctrl + Y Ctrl + Shift + Z	取り消した操作を再実行
全選択	Ctrl + A	テキスト全体を選択
削除	Delete	選択されたテキストを削除
文字単位で左移動	Ctrl + ←	単語単位でカーソルを左へ移動
文字単位で右移動	Ctrl + →	単語単位でカーソルを右へ移動
行頭へ移動	Home	カーソルを行の先頭へ
行末へ移動	End	カーソルを行の末尾へ
上へ移動	↑	前の行へ移動（複数行の場合）
下へ移動	↓	次の行へ移動（複数行の場合）
改行	Enter	改行
インデント挿入	Tab	半角スペースを４文字分挿入
検索	F3	初回は検索画面を呼び出す
上へ検索	Shift + F3	初回は検索画面を呼び出す
検索画面呼び出し	Ctrl + F	検索画面を呼び出す
置換画面呼び出し	Ctrl + H	置換画面を呼び出す
「¥」(U+00A5) を入力	Ctrl + ¥	¥(U+005C)ではなく¥(U+00A5)を入力
	※ ¥(U+005C)はフォントによっては ＼ として表示される場合があります。	

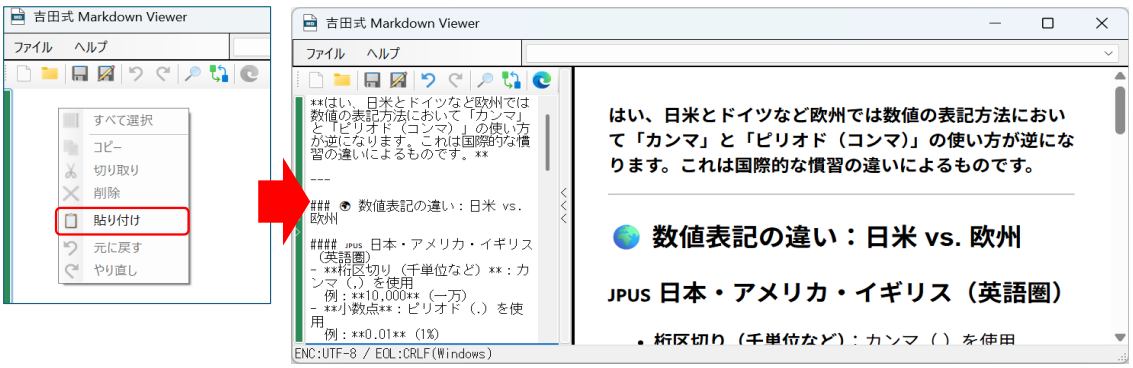
活用例：CopilotやChatGPTの回答をMarkdown形式で整理・保存する方法

CopilotやChatGPTなどのAIアシスタントは、技術的な質問への回答やアイデアの整理、文章の下書き作成など、
日々の業務や学習において非常に有用です。
これらの回答をMarkdown形式で取得・保存することで、情報の再利用性や可読性が高まり、ナレッジベースとして
活用することができます。

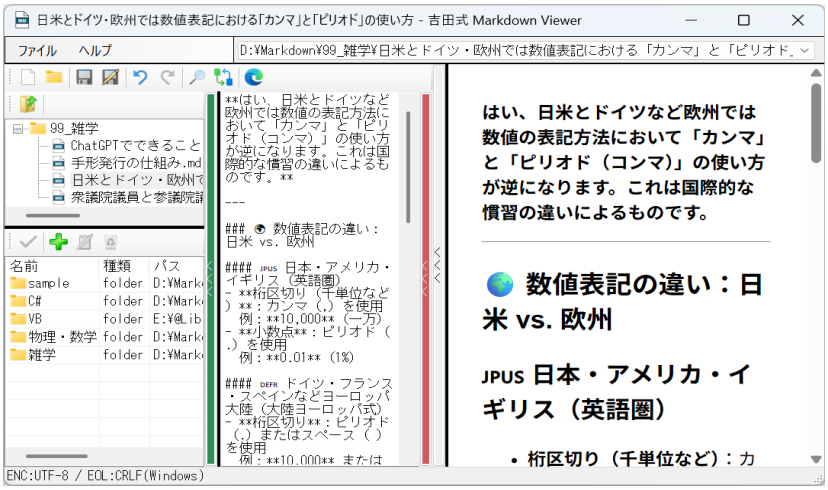
1. AIでの調べ物の結果をクリップボードにコピー



2. エディタに貼り付け



3. mdファイルを保存しておけば、いつでも簡単にAIの回答を確認することが可能です。
もちろん、自分でAIの回答を編集したり、新たにメモを作って保存しておくことも簡単にできます。



※これは、吉田式Markdown Viewer v1.0.5.0 の画面です。GUIが最新バージョンとは若干異なります。

■製作者情報

製作者
吉田

連絡先（eMail）
yoshida.works.1991@gmail.com

■免責事項

当該ソフトウェアに基づいて生じたいかなる損害についても、一切の責任を
負いませんので、あらかじめご了承ください。
また、当ソフトウェアの利用に際しては、ユーザー自身の判断と責任に
おいて行っていただくようお願いいたします。

■著作権および使用許諾について

本マニュアルおよびソフトウェアに関するすべての著作権は、製作者（吉田）に帰属します。
本ソフトウェアの無断複製、転用、配布、改変を禁止します。

■寄付のお願い

当ソフトウェアをご利用いただき、誠にありがとうございます。
皆様のご支援により、このプロジェクトは成り立っております。

このソフトウェアは無償で提供されておりますが、継続的な開発と改善には
多くの時間と労力が必要です。
もしこのソフトウェアが役立ったと感じていただけましたら、寄付を通じて
ご支援いただけると幸いです。

銀行振込

銀行名	三菱UFJ銀行
店番号・名前	383　　蕨支店（わらびしてん）
口座番号	0101019
名義	ヨシダ　ユウスケ

※カンパのお振込みに関して、当方から暗証番号、ログインパスワード、認証コード、
　クレジットカード情報などをお尋ねすることはありません。

更新履歴

更新日	バージョン	更新内容
2026/09/27	1.2.5.0	①表貼り付け機能を強化 ②ブラウザからの貼り付け時に、文字列が表へ誤変換される不具合を修正 　※本対応に伴い、TSV形式の貼り付けによる表変換はサポート対象外となります。 ③ツリービューにコンテキストメニューを追加 　（ファイル／フォルダの削除、お気に入りへの登録）
2026/08/30	1.2.4.0	①タグをHTML部分に表示しないように修正（タグの扱いについては、仕様を模索中） ②テキストエディタの最大文字数制限を緩和し、長文ファイルを編集できるよう改善
2026/08/02	1.2.3.0	①WebView2内の外部URLを標準ブラウザで開く処理の復活 ②「#header1」のようなページ内リンクへの対応
2026/07/26	1.2.2.0	HTMLにファビコンを追加
2026/07/26	1.2.1.0	①コードブロックのコピー時に余分な改行が入る問題を修正 ②表(テーブル)の表示を改善 ③表(テーブル)のストライプ表示を切り替える機能を追加 ④引用部分の表示を改善
2026/07/20	1.2.0.0	①オフライン環境での動作に対応（合わせてMD→HTML変換関連のコードを大幅改定） ②フレームワークを.NET 8から.NET 10に変更 ③MD→HTML変換の不具合を修正 ④コードブロックや表などの表示を変更
2026/03/30	1.1.1.0	①拡大画像をESCキーで閉じる機能を追加 ②Markdig を0.x系から1.x系にアップデート（日本語の強調が壊れにくくなった等）
2026/03/20	1.1.0.0	①アプリ全体のダークモードに対応（一部のUIはOS仕様により非対応） ②設定画面の構成を変更（HTMLタブを削除し、外観タブを追加） ③コピーしたテキストの改行コードをCRLFに統一
2026/02/16	1.0.7.2	①コードブロックのコピーが機能しない問題を修正 ②ブラウザペインで Ctrl + F による検索が表示されない問題を修正 ③エディタウィンドウのフォント設定を追加（設定画面から変更可能） ④Ctrl + ¥(ﾊﾞｯｸｽﾗｯｼｭｷｰ) で「¥」(U+00A5) を入力する機能を追加 ⑤GitHub Flavored Markdown (GFM) の一部記法に対応（タスクリストなど）
2026/02/09	1.0.7.1	①Undo / Redo の処理ロジックを見直し、動作の安定性を向上 ②アップデートチェックを OFF にしている場合でも実行されてしまう不具合を修正 ③保存ボタンおよびショートカットの連続クリックを防止し、誤操作を抑止 ④コードブロックのテーマ変更が即時反映されない不具合を修正 ⑤コードブロックの対応言語を拡充 ⑥SJIS保存時の注意事項をマニュアルに追記

更新履歴

更新日	バージョン	更新内容
2026/02/03	1.0.7.0	①印刷時のタイトルが正しく反映されない問題を修正 ②画像挿入時の表示ロジックを改善 ③新規作成直後に WebView が表示されない場合がある不具合を修正 ④数式表示ができなくなっていた問題を修正 ⑤エディタの文字サイズ変更機能を正式実装 ⑥ブックマークからMDファイルを開いた際の動作を変更 ⑦画像/動画/音声ファイルに対応 <例> Markdown では、以下のように記述することでファイルを表示または再生できます。 ※埋め込むファイルは、対象のMDファイルと同じフォルダに配置する必要があります。 ![画像](./picture.webp) ![音声](./music.mp3) ![映像](./video.mp4) ⑧WebView のコンテキストメニューを独自のものに差し替え ※コンテキストメニューからの「コピー」はアプリ独自の処理であり、 キーボード操作（Ctrl + C）によるコピーとは動作が異なります。
2026/01/25	1.0.6.7	①ドラッグ＆ドロップでファイルを開けない不具合を修正 ②「ブラウザで開く」が正しく動作しない不具合を修正
2026/01/21	1.0.6.6	①新規作成後、エディタの入力内容がブラウザに反映されない不具合を修正 ②コードブロックのコピーボタンでクリップボードにコピーできない問題を修正 （WebView2の仕様変更に対する対応） ③Web画面でハイパーリンクをクリックした際、外部ブラウザで リンクを開くように仕様を変更。
2026/01/15	1.0.6.5	起動に失敗する場合がある不具合を修正（初回起動時の設定初期化処理に問題がありました）
2025/10/26	1.0.6.0	①編集中の行に下線を描画し、視覚的強調を図る ②新バージョンのリリース確認機能を追加 ③設定画面の構成を変更 ④Undo/Redo機能を強化（カーソル位置が先頭に移動する問題などを修正） ⑤CSSの最新URL取得頻度を1日1回に修正（サイトへの負荷軽減、起動速度向上を図る） ⑥その他、内部ロジックに関する改善
2025/10/05	1.0.5.0	①コピー＆ペーストでUndoが2つ進む問題を修正 ②ペースト時、”¥[～¥]”を”$$～$$”に置換するオプションを追加(初期値:ON) ③検索画面が環境によって崩れる問題を修正 ④[名前を付けて保存]で保存したファイルがTreeViewに重複表示される問題を修正 ⑤エディタの右クリックメニューを自作のメニューに変更
2025/09/29	1.0.4.0	①設定画面の追加 ・デフォルトの文字コードと改行コードの設定 ・コードブロックのシンタックスハイライトテーマ設定 ②HTMLコードブロックの表示崩れ修正 ③Delphiコードブロックの表示崩れ修正（ハイライト非対応） ④Undo/Redo機能を強化 ⑤ペースト機能を強化 ・Excelなどの表を張り付けた際は、Markdownの表形式に変換する ・Shiftキー押下時はプレーンテキストとして扱う ⑥ツリービューペインに上階層への移動ボタンを追加 ⑦ルート配下の変更をツリービューへ反映する機能を追加 ⑧ツールバーに関する変更 ・配置変更 ・検索、置換ボタンを追加 ・Undo、Redoボタンを追加 ⑨その他、内部ロジックに関する改善(特にINIファイル関連を刷新)
2025/09/15	1.0.3.0	①ショートカット機能(お気に入り機能)を追加 ②ファイル読み込み時の文字コード判定を強化 ③ツリービュー、エディタビューの表示非表示機能を改善
2025/08/24	1.0.2.0	①生成するHTMLを改善 ②ツリービューペインを追加（試験的導入）
2025/08/13	1.0.1.0	印刷機能を追加
2025/08/11	1.0.0.0	公開用初版